

9月定例会で提案された各議案について、本会議や各常任委員会で審議を行いました。

ここでは、本会議や委員会での主な質疑の内容を掲載しています。



消防指令センター

共同運用するメリットは

議員 消防指令センターを島本町と共同運用するメリットについて伺います。

指令調査室副室長 財政面では、共同で整備・運用することにより、重複する高額な機器等を共同で整備・維持管理でき、結果として両市町の消防資源の効率的な利用や費用の削減が図られるほか、共同運用に係る国の財政支援が活用できることにより、両市町に更なる財政面の効果が見込まれています。運用面では、大規模災害時において、消防力の有効活用ができ、より一層、効果的・効率的な



▲島本町との共同整備を進める消防指令センター

相互応援態勢の確立が図られます。また、市民に対しては、119番受信体制の強化、相互応援体制の迅速化により、本市東部地域の一部において、救急出動時の現場到着時間を短縮することが可能となるなど市民サービスの向上が図られます。

議員 本事業の事業者は公募によるプロポーザル方式で選定することですが、指令センターは災害時等においても業務の継続性

を確保する必要がある、状況によっては1分1秒を争う住民の命を守る重要な機能なので、技術力、豊富な実績・経験があること、更に企画力があり最適なシステム構築が可能な業者を選定してほしい。



国民健康保険

産前産後期間の国保料免除相談しやすい体制を

議員 産前産後期間の国民健康保険料の免除制度の申請に係る周知方法について伺います。

国民健康保険課長 出産する被保険者の申請漏れがないよう出産育児一時金の支給と併せて案内することや、国民健康保険課以外での周知方法など効果的な手法を検討していきます。

議員 今回の国民健康保険料の免除措置は自営業やフリーランスの子育て世帯への負担軽減として重要な取り組みであるため、分かりやすい申請方法や相談し

やすい窓口の設置といった体制づくりに努めてほしい。



水道

水道料金コンビニ収納手数料値上げの影響は

議員 水道料金のコンビニエンスストア収納に係る収納代行手数料の値上げにより、1年間の費用負担にどの程度影響があるのか伺います。

給水収納課長 令和6年度からの手数料単価の増加幅を仮に1件当たり30円とすると、1年間での取り扱い件数が約23万件を見込んでおり、約690万円の手数料の負担増となります。

議員 ライフラインを預かる企業体として、簡単にその負担を転嫁することは困難なことであり、また、外部からの影響が大きい時代にあって、国の取り組みに期待しているところですが、高槻市水道部としても、しっかりと業務の効率化等に取り組みよう期待します。

本会議のライブ配信のご案内

高槻市議会では、YouTubeによる本会議映像のライブ配信を行っています。

傍聴に行けない場合でも、パソコンやタブレット端末、スマートフォンから本会議をリアルタイムで視聴することができます。

12月定例会でも、本会議のライブ配信をぜひご活用ください。



▲本会議のライブ配信

はにたん
高槻市
マスコットキャラクター

